

ボックス ウェルBOX-右京



ごあいさつ

区民の皆様には、日頃より右京区社会福祉協議会および各学区社会福祉協議会の活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年12月21日より、事務所を右京区総合庁舎5階に移転することとなりました。

今後も、地域の福祉活動の拠点として、変わらぬ御支援をよろしくお願ひいたします。

右京区社会福祉協議会 会長 高屋宏章

令和2年
12月21日
から

右京区社会福祉協議会は
右京区総合庁舎5階に移転します

住所／〒616-8511 京都市右京区太秦下刑部町12
右京区総合庁舎5階

TEL (075) 865-8567 FAX (075) 865-8569

E-mail : info@ukyoku-syakyo.net

Web : <https://www.ukyoku-syakyo.net/index.php>

※電話・FAX番号、E-mailアドレス、Webサイトは変わりません。

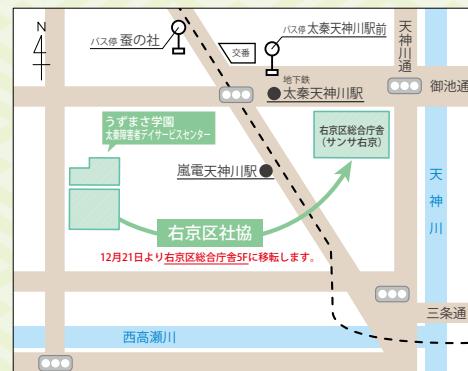
※12月18日までは、下記の所在地です。

〒616-8105 京都市右京区太秦森ヶ前町22-3

アクセス／地下鉄東西線「太秦天神川」駅下車すぐ 京福嵐山線「嵐電天神川」駅下車すぐ

市バス 8・11・27・70・71・75・80・84系統太秦天神川駅前下車すぐ

京都バス 71・72・73・74・75・81・83系統太秦天神川駅前下車すぐ



地域

“地域×施設・企業”で

お互いの活動を応援。新たな一步へ！

新型コロナウイルスの影響を受けて、障害者福祉施設でも、販売先が激減するなど仕事に大きな影響がでています。また、地域でも今まで通りに地域活動を行うことができず、どんな活動ができるだろう、と頭を悩ませていました。そんな地域と施設・企業がお互いの難しさや大変さを知り、新たな取組が生まれています。

施設・企業

〔葛野社協 × 加音 西京極作業所〕

中止となった「葛野福祉まつり」の代替として、敬老の日に敬老記念品を贈呈。敬老記念品は、葛野学区にある「加音 西京極作業所」に依頼。障がいのある利用者の皆さんのが、ひとつずつ心を込めて手作りで製作した「にほひ袋」を、葛野学区にお住まいの75歳以上の高齢者、約500名の方にお贈りしました。一軒一軒様子をお伺いしながら訪問し、皆さんに大変喜んでいただきました。



〔北梅津社協 × 京都市うずまさ学園〕

例年開催していた「北梅津敬老福祉ふれあいまつり」は中止しましたが、高齢者の健康長寿を祝いながら、学区民の親睦を深めるものができないかということで、「北梅津 敬老福祉・防災教室」を開催しました。梅津北小学校の体育館にて、2部に分けて開催。右京消防署の防災教室、介護予防推進センターの体操教室、最後にはピアノ演奏を聴いて、盛りだくさんの内容でした。参加された学区内の75歳以上の高齢者の皆さんには、お土産として、「京都市うずまさ学園」のクッキーなどのお菓子や記念品を持ち帰られ、とても満足していました。

〔京北社協 × 京北町弁当組合〕

給食ボランティアが調理したお弁当をお一人暮らしの高齢者等に届ける「ふれあい給食」は、コロナ禍での調理は難しいと判断し中止。その間、京北商工会（京北町弁当組合）と、高齢者に優しいメニューについて試作・試食を行い、弁当組合のお弁当を配ることができました。感染予防対策をとって9月よりボランティアによる調理を再開しましたが、調理中止の間もお弁当をつうじた高齢者の見守り活動を絶やさずに行きました。京北町弁当組合からも、「自分達もボランティアの志を持とう」「今後も仲間を増やしていく」との言葉もいただきました。



9月より調理を再開した周山③グループ

「右京福祉のまちづくり学校」開催

今年度は「WITH コロナ」社会を乗り切る地域福祉活動」をテーマに開催（9月4日）。講演会では、イトウ診療所の伊藤照明医師に「コロナ禍における在宅医療」についてお話をいただきました。コロナ禍では、病院に入院すると面会が禁止され、最期の時を家族ですら看取ることが出来ない中、最期は在宅で迎えたいという方が増えているそうです。在宅医療では、医師だけでなく地域の多くの専門職が連携してお一人お一人の生活を支えていること、人生の最期について、療養場所や医療の受け方はご本人やご家族で話し合いをしておき、最期まで自宅で過ごしたいという希望があれば、往診できる主治医を見つけておくことが大切であると締めくくられました。

活動報告では、京北社会福祉協議会の米津一記様、特定非営利活動法人フォーラムひこばえの井上公子

様から、コロナ禍においても取り組まれている地域福祉活動の実践をそれぞれ報告いただきました。

京北社会福祉協議会では、住民の生活に密接した取組が多い中、「リスクと向き合いながら必要な支援を届けることはできないか」との思いを基に、見守り活動やふれあい給食の再開にむけた感染予防の研修会の実施してきた活動を紹介されました。

フォーラムひこばえでは、サークル活動や会食会が中止となる中、活動の目的を改めてふりかえり、独居高齢者への電話かけや弁当を取りに来ていただく活動を実施し、見守りや生きがいづくり等活動を大切にしていると報告いただきました。

参加者からは「できることを模索しながら、実践される姿勢に感銘を受けた」との声が挙がるなどコロナ禍における今後の取組に向けた思いや実践を共有する機会となりました。



イトウ診療所 伊藤 氏

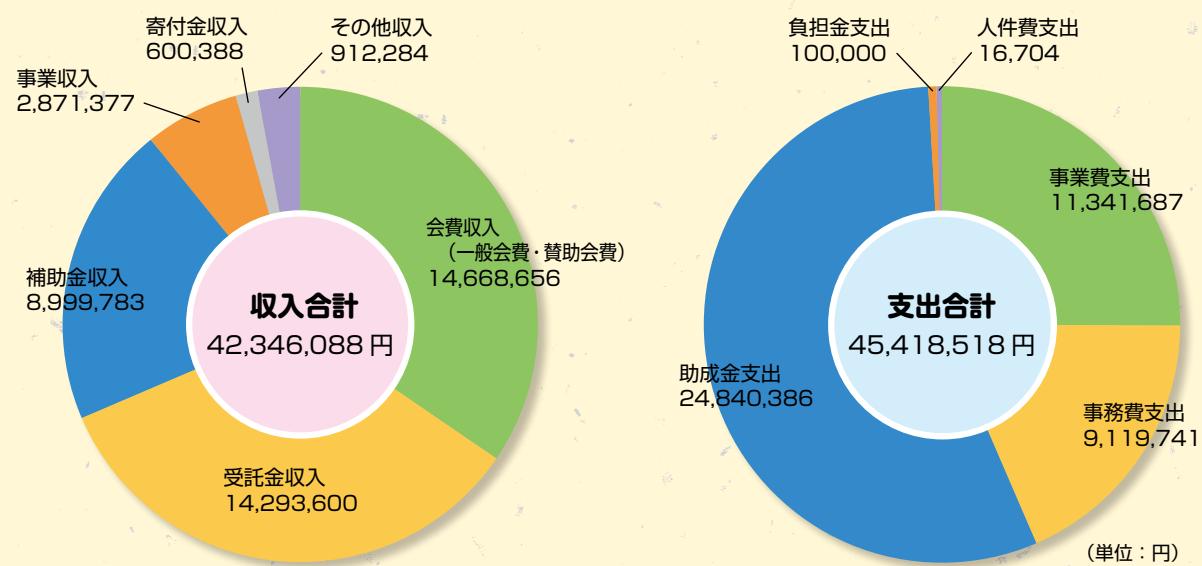


京北社協 米津 氏



フォーラムひこばえ 井上 氏

令和元年度 右京区社協決算報告



令和元年度事業報告書、収支決算書は本会ホームページに掲載しております。▶ <https://www.ukyoku-syakyo.net/index.php>

令和2年度 事業計画

令和2年度は、今後5か年かけて区社協として取り組むべき基本目標、推進課題等を定めた「第4期右京区地域福祉活動計画」の初年度にあたり、本会が掲げる基本理念である「誰もが『ひとりの人間』として尊重され、安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けた基盤強化に努めます。

基本目標

地域の生活課題に対して、多様な人や組織と共に、対話を重ねながら、福祉のまちづくりへの共通理解を深めます

目標達成に向けた推進課題

- (1)災害にも強い福祉のコミュニティづくりに向けて、地域と共に社協の強みを発揮した支援をすすめます
- (2)生きづらさ（困窮・障害・複合問題等）を抱えている人への支援を通じて、汲み取った課題を地域と共有し、理解と連携を進めます
- (3)先駆性と開拓性を発揮し、住民が主体的に参画できる支え合い活動を進めます
- (4)多様な人や組織等がもつ強みを活かしながら、連携・協働による取組を進めます

重点項目

- ①活動計画の計画的な推進
 - ・第4期右京区地域福祉活動計画の推進
 - ・法人運営に関する諸会議の開催
 - ・社協の総合力とネットワークを活かした連携・協働
- ②関係機関、団体・施設等との連携・協働
 - ・事業を通じて汲み取った課題を地域と共有し、福祉ニーズに対する理解促進と連携強化
 - ・福祉のまちづくり体制整備事業との連携
 - ・地域の福祉課題の応じた先駆性・開拓性・柔軟性をもった活動の創出と支援
- ③災害にも強い福祉のコミュニティづくり(要配慮者支援)
 - ・平時から要配慮者支援を意識した活動の展開
 - ・災害ボランティアに関する環境整備

吹田良忠 様

琴山流グループ 代表 鵜子敏子 様

黒田ふれあいまつり実行委員会 様

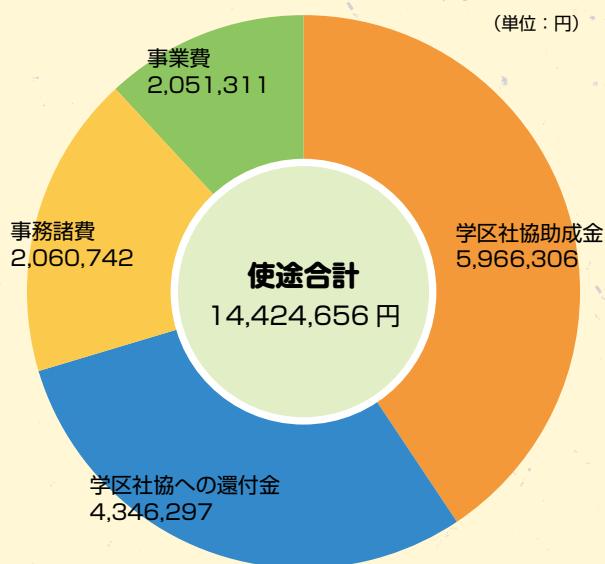
本井清司 様

高山建設株式会社

京北グラウンドゴル

みんなの力が右京区を元気にする 賛助会員制度

令和元年度 賛助会費の使途内訳



令和元年度 賛助会費募集実績一覧

学区名	賛助会費 (円)
太秦	2,415,000
南太秦	592,500
常磐野	767,200
安井	661,100
嵯峨野	808,800
山ノ内	524,000
西院第一	490,666
西院第二	800,500
梅津	441,200
北梅津	555,100
嵯峨	1,364,500
広沢	574,000
嵐山	286,950
水尾	17,000
岩陰	70,000
花園	627,250
御室	824,080
宇多野	495,500
高雄	418,000
西京極	598,110
葛野	385,000
京北	708,200
合計	14,424,656

賛助会員制度とは？

右京区社協では、区民の皆様のご理解と参加・応援のもとで、区社協と学区社協が取組む地域福祉活動を充実させるため、賛助会員を募集しています。賛助会員とは、区社協と学区社協の活動の趣旨・目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的にご支援いただく“地域福祉の応援団”です。

社会福祉協議会とは？

社会福祉協議会（以下、社協）は、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域福祉の推進の役割を担い、さまざまな活動をおこなう非営利の民間組織です。京都市では市・区・学区の三層の社協活動を推進し、学区社協が最前線となり居場所づくりや見守り活動、相談事業等を展開し、市・区の社協が学区社協活動の後方支援を行っています。

令和2年度も賛助会員募集を行います。
ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

地域福祉活動へのご寄付をいただき、ありがとうございました。

（令和元年9月～令和2年8月）

代表取締役 高山義雄 様

藤原周二 様

株式会社信天堂 様

フクラブ 様

太秦農事研究会 様

株式会社阪急オアシス 様

右京区ボランティアセンター

ボランティアに関する相談はこちらまで!→

月~金曜日 9時00分~17時00分
TEL 075-865-8567 FAX 075-865-8569

ボランティアセンターでは「ボランティアしたい・してほしい・学びたい」などのボランティアに関する相談を受付けています。ボランティアグループ連絡会の活動振興、ボランティアに関する講座、ボランティア保険の加入手続き、助成金情報のご案内、車椅子やプロジェクター等の機材の貸出など、様々な活動支援を行っています。お気軽にご相談ください。

令和2年度 ボランティア入門講座「やさしい手話入門講座」を開催しました!

9月23日・29日の2日間の連続講座として開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者を20名に限定し、広い会場で、消毒、検温、体調チェックなどの対策を取り、10名の講師陣の方々もマスク、フェイスシールドを装着し、グループに分かれて研修が行われました。

コロナ禍での聴覚障害の方の生活についてお話を聞いたり、指文字、手話であいさつ、手話で歌、など盛りだくさ

んの内容で、受講者の皆様も熱心に取り組まれていました。



右京区ボランティアグループ連絡会 活動紹介

連絡会は右京区内のボランティアならびにボランティアグループ相互の交流と情報交換を通じて、地域社会におけるボランティア活動の推進を図ることを目的に活動しています。

わたぼうし文庫

「子どもに読書の楽しみを 子育てに絵本を」を目的に数多くの児童書や絵本を設置し、季節に合わせた様々なイベント、読み聞かせ、本の貸出を行っています。今年は、コロナ禍でも、屋外で楽しく実施しています。



京北対話ボランティアグループ

コロナ禍においても、感染予防対策をとって、「訪問して対話」という活動で、高齢者のお話しを聞き、笑顔で時間を共有しています。

おれんじサロン右京



若年性・初期認知症の方とその家族を対象に開催しています。区社協の職員を始め、デイサービスセンター職員、老人福祉センター職員、また、認知症サポート講座・アドバンスサポート講座を受講された認知症に詳しいスタッフが参加者をサポートしています。

日 時:毎月第3火曜日 13時30分から15時

会 場:右京中央老人福祉センター(右京合同福祉センター2階)
お気軽にご参加ください。

今年度のおれんじサロン

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止していましたが、7月から感染防止策を取りながら「観て楽しむ」プログラムを中心に毎月開催しています。コロナ禍で自粛傾向が続く中、たくさんの笑顔が見られました。今後も、感染状況等を注視しながら、皆様と一緒に楽しいひとときを過ごせたらと思います。



被災者とボランティアをつなぐ災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターとは、大規模災害時のボランティア活動拠点として設置され、区災害対策本部や地域と連携を取りながら、被災者の困りごとの把握、ボランティアの受入及びコーディネート等を行います。右京区社会福祉協議会では、区総合防災訓練にあわせて区災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しています。

近年災害が多く発生しておりますが、発災時はまず身の安全確保、家族の安否確認をし、近隣の要配慮者への声かけをすることで、最小限の被害に抑えることができます。日頃から近隣にお住まいの配慮が必要な方の把握やお声かけ、また災害ボランティア活動への地域の皆様のご理解とご協力を宜しくお願ひいたします。

「応援します！右京区内の子どもの居場所」～子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業～

子ども食堂や学習支援などの子どもの居場所が、地域で継続して、安心して取り組まれていくために、子どもの居場所づくりに関わるいろいろな「支援の輪」が拡がっていくことを目指し、以下の取り組みを進めていきます。

①子どもの居場所の拡充

③子どもの居場所に関する啓発活動

②子どもの居場所運営支援

④「気づきの窓口」サポート

嵐山こども食堂 嵐山こども食堂運営責任者 高畠 高嗣

京都市右京区の嵐山こども食堂は令和2年11月で丸5年目を迎えます。

この5年間こども食堂にこだわって活動を続けてきました。

こども食堂が地域にあることによって、こども達やご年配の方にご利用いただき、中には生活に困っておられるかもしれない方も、見捨てない地域や活動であり続けたいと思っています。

新型コロナウイルスの流行を受けて、今年の4月からはお弁当持ち帰りで継続しています。

こども達が大人達に期待してくれている活動です。これからも継続していきます。

そして毎月お手伝いしてくださる方々やご支援してくださる方々が年々増えてきています。

お弁当持ち帰りも、こども100円（専門学校生・大学生迄）大人300円です。

毎月第3日曜日11時～14時に開催しています。

大勢の方々のご来場お待ちしております。

WEBサイト開設！

<https://kyoto-kodomo.jp>

お問い合わせ先

子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業

（京都市社会福祉協議会 地域支援部）

TEL：075-354-8732



おいでやす食堂 みんなの居場所制作委員会 代表 河本 歩美

「おいでやす食堂」は、年代問わず、誰でも参加できる食堂です。カレーがメインメニューですが、唐揚げやベビーカステラなども提供しています。コロナ禍で、今はテイクアウトのみで提供しています。食堂は、高齢者福祉施設西院で開催しています。以前は、老若男女の皆さん、100名以上参加をしてくださいり、参加者同士でお馴染みさんになっておられました。食堂の無い日にも地域でお出会いになると、声をかけてくれる子どもさんもありました。このように、地域で顔見知りが増えていくことでみんなが安心して暮らせる地域になると考えています。

毎月第3金曜日17時～19時30分に開催しています。みなさまのご参加お待ちしております。



京都市うずまさ学園

京都市うずまさ学園は、18歳以上で、主に知的障がいのある方の自立と社会参加を図る施設（就労継続支援B型事業・生活介護事業）です。

新しい生活様式を取り入れながら新型コロナウイルス感染症等の予防に努め、社会福祉施設の使命を果たすべく今日も開所しています。その中にあるパン工房「ジョリ・フルール」では、今年度、クリスマスケーキの製造・販売を行います。5号生クリームのケーキと4号のケーキを3種類ご用意させていただきます。多少の条件はございますが配達もさせていただく予定ですので、ご注文のほどよろしくお願ひいたします。

詳しくは、京都市うずまさ学園ホームページをご覧になるか、右記までお気軽にお問い合わせください。



●開所時間

月～金曜日 8:30～17:00

※土日祝休園

●お問い合わせ先

京都市うずまさ学園

右京区太秦森ヶ前町 21-10

TEL 873-5353 / FAX 864-4753

●ホームページ

<http://uzumasagakuen.jp/index.html>



サンサ右京でのU-ネット福祉屋台



右京区内の障害者施設が一同につどい各施設自慢の商品を販売する福祉屋台は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していましたが、10月より再開しました。

- 12月24日(木)、1月28日(木)、2月25日(木)
- 10時～16時 ●サンサ右京1階で開催。

ぜひ、お立ち寄りください。

高齢者や障害のある方が、安心して生活するためのお手伝いをしませんか

～日常生活自立支援事業 生活支援員募集～

高齢者や障害者の中には、「福祉サービスの利用方法が分からぬ。」「お金のやり繰りに自信がない。」など、ひとりで判断することに不安を抱えている方がいらっしゃいます。



そのような方々が地域で安心して暮らせるように、「生活支援員」と「専門員（職員）」がお手伝いをしています。生活支援員の活動にご興味がある方は、右京区社協までご連絡ください。

赤い羽根共同募金 引き続き皆様の温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

共同募金は地域福祉活動における大事な財源となっています。皆様からの貴重な募金は京都府共同募金会に届けられ、高齢者、障害児者、子育て支援等の福祉活動に使われています。令和元年度は、8,509,783円の配分を受けて各種活動に助成しました。今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が展開されています。引き続き、共同募金へのご理解とご協力の程、よろしくお願いします。



ウェルBOX-右京 第30号 令和2年12月発行

発行／社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会・右京区ボランティアセンター
発行人／高屋宏章 編集人／永田潤平